

新潟市環境マネジメントシステム マネジメントレビュー

1 新潟市地球温暖化対策実行計画（市役所率先実行版）第5期計画

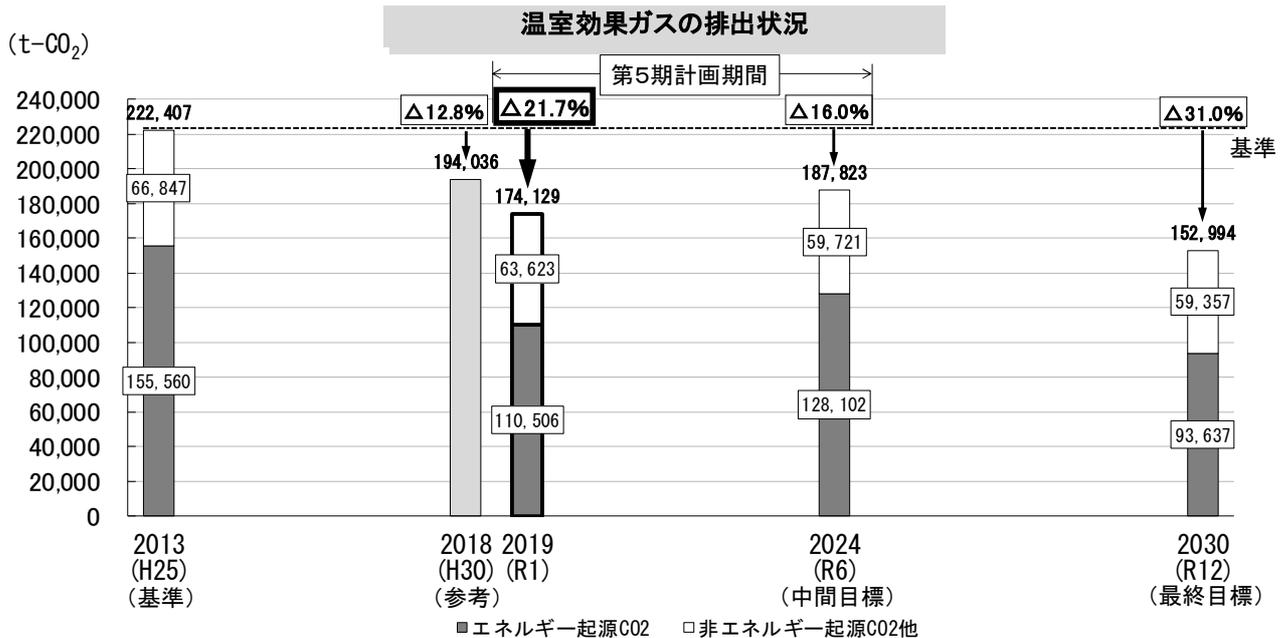
(1) 市の事務・事業による温室効果ガス排出量

○目標

- 市のすべての事務・事業に伴って発生する温室効果ガス総排出量を、2013年度を基準として2024年度までに16%以上削減する
- 計画期間：2019年度～2024年度

○実施状況

	2019年度実績	中間目標(2024)	最終目標(2030)
2013年度比 〔エネルギー起源CO ₂ 〕	△21.7%	△16%	△31%
〔非エネルギー起源CO ₂ 他〕	〔△4.8%〕	〔△11%〕	〔△11%〕



- 基準年度比 21.7%削減，前年度比 10.3%削減
- CO₂ 排出量の少ない電力の新たな調達*による減少が大きかった
(全電気使用量に占める割合 2018年度：0%→2019年度：24%)

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	177,630,799	90,562	510
2019年度	168,341,408	69,879	415

*新潟スワンエナジー(株)，亀田清掃センター発電余剰電力

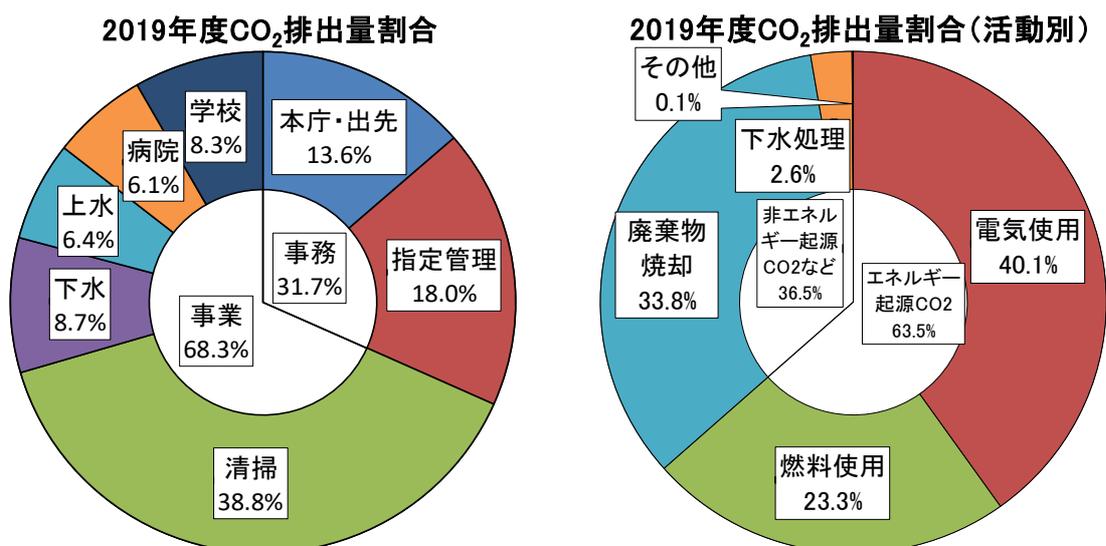
- その他基準年度からの減少の理由
 - ・事務：施設の廃止（白山浦 6,7 号棟など），新潟スワンエナジー(株)ほか CO₂ 排出量の少ない電力の調達
 - ・清掃：新津クリーンセンター廃止，ごみ焼却量の減少
 - ・上水，下水：CO₂ 排出量の少ない亀田清掃センター発電余剰電力の調達
 - ・学校：学校統廃合（小学校，2013年度：115校⇒2019年度：108校）

(2) 事務事業別にみた温室効果ガス排出状況（二酸化炭素換算）

	基準年度 (2013) (t-CO ₂)	前年度(参考) (2018) (t-CO ₂)	2019年度結果		
			排出量(t-CO ₂)	基準年度比	前年度比
事務部門	72,206	62,420	55,130	△23.6%	△11.7%
本庁・出先	34,553	26,545	23,709	△31.4%	△10.7%
指定管理	37,653	35,875	31,421	△16.6%	△12.4%
事業部門	150,201	131,616	118,999	△20.8%	△9.6%
清掃	—	67,527	67,592	—%	0.1%
下水	—	17,427	15,114	—%	△13.3%
上水	—	17,840	11,196	—%	△37.2%
病院	—	10,739	10,659	—%	△0.7%
学校	—	18,084	14,439	—%	△20.2%
全体合計	222,407	194,036	174,129	△21.7%	△10.3%

※電気事業者別排出係数は環境省経産省公表、2017年度及び2018年度実績の基礎排出係数使用

※四捨五入の関係で、合計が合わない場合があります



(3) 各部門における温室効果ガス排出量の分析

【事務】 <基準年度比 Δ23.6%>

本庁
出先

<前年度比 Δ10.7%>

新潟スワンエネルギー(株)などのCO₂排出量の少ない電力調達の推進により、CO₂排出量が減少した。

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	32,853,390	16,853	513
2019年度	32,083,587	13,856	432
前年度比(%)	Δ 2.3	Δ 17.8	

指定
管理

<前年度比 Δ12.4%>

- ・市民向け一部施設は新型コロナウイルス対応での休館などの影響により、エネルギー使用量が減少した。
- ・CO₂排出量の少ない電力調達の推進により、CO₂排出量が減少した。

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	45,491,000	23,668	520
2019年度	38,528,902	19,052	494
前年度比(%)	Δ 15.3	Δ 19.5	

【事業】 <基準年度比 Δ20.8%>

清掃

<前年度比 +0.1%>

- ・ごみ中のプラスチック類割合が近年増加傾向にあり、焼却によるCO₂排出量が増加した。
- ・亀田清掃センター発電余剰電力などのCO₂排出量の少ない電力の調達により、CO₂排出量が減少した。

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	10,667,611	5,558	521
2019年度	10,837,093	4,030	372
前年度比(%)	1.6	Δ 27.5	

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
◎市全体	焼却総量(t)	214,285.0	212,240.0	207,658.0	204,117.0	204,022.0	202,624.0	203,303.0
	紙類(t)	45,402.2	44,710.2	45,031.2	43,819.5	43,868.6	43,339.6	43,063.7
	プラスチック類(t)	20,351.6	19,446.2	20,253.3	18,673.4	17,946.3	19,084.6	19,983.5

※四捨五入の関係で、合計が合わない場合があります

下水

<前年度比 Δ13.3%>

- ・降水量が近年減少傾向にあり、下水処理量が減少し、CO₂排出量が減少した。
- ・亀田清掃センター発電余剰電力などのCO₂排出量の少ない電力の調達により、CO₂排出量が減少した。

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	22,614,927	11,782	521
2019年度	21,407,857	9,672	452
前年度比(%)	Δ 5.3	Δ 17.9	

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
年間降水量(mm)	2,346.5	1,953.5	1,584.2	1,383.5	2,137.0	1,677.5	1,353.0

上水

<前年度比 Δ37.2%>

- ・取水量が近年減少傾向にあり、設備稼働によるエネルギー使用量が減少した。
- ・阿賀野川浄水場、戸頭浄水場の設備更新により、重油→軽油、軽油→灯油へ燃料を転換し、CO₂排出量が減少した。
- ・亀田清掃センター発電余剰電力などのCO₂排出量の少ない電力の調達により、CO₂排出量が減少した。

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	33,344,351	17,149	514
2019年度	33,296,330	10,567	317
前年度比(%)	Δ 0.1	Δ 38.4	

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
年間取水量(千m ³)	97,966	97,966	96,809	96,725	97,808	95,555	94,598

病院

<前年度比 Δ0.7%>
CO₂ 排出量は前年度並であった。

学校

<前年度比 Δ20.2%>

- 新型コロナウイルス対応での休校により，冬季のエネルギー使用量が減少した。
- エアコン導入により，暖房利用において灯油→電気へ燃料を転換し，CO₂ 排出量が減少した。
- CO₂ 排出量の少ない電力調達の推進により，CO₂ 排出量が減少した。

	電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	平均排出係数(g-CO ₂ /kWh)
2018年度	22,023,244	10,031	455
2019年度	21,711,789	7,234	333
前年度比(%)	Δ 1.4	Δ 27.9	

	灯油使用量(L)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)
2018年度	885,041	2,216
2019年度	598,101	1,498
前年度比(%)	Δ 32.4	Δ 32.4

2 令和元年度（2019年度） ISO14001 自己適合の運用状況について

基本方針

- 「新潟市環境基本計画」に掲げる環境保全及び創造に関する施策や取組みの積極的推進
 - 事務事業活動による環境への負荷の低減、継続的な改善
 - 事務事業に係る環境法令及びこれらに類する同意事項の遵守
 - 環境方針に沿った事務事業活動に取り組む人材育成の推進
 - 環境方針及び環境マネジメントシステムの活動成果等の公表
- 適用範囲：新潟市役所本庁舎及び全区役所庁舎

運用状況

1. 内部監査の実施結果

各所属における ISO の運用状況について令和元年（2019年）12月に内部監査を実施。すべての所属で適切に運用が行われました。

2. 法的要求事項等の順守状況

法的要求事項等 89 項目すべてにおいて遵守しました。

3. 公共工事における環境配慮状況

「公共工事の環境配慮に関する特記仕様書」を伝達し、新潟市のすべての公共工事において、環境配慮に努めました。

4. 環境側面及び環境マネジメントシステムに関わる重要な外部コミュニケーション（苦情・意見）

重要な内容と判断された外部コミュニケーションはありませんでした。

5. 環境目的及び環境目標の進捗状況

「第3次新潟市環境基本計画」で指標項目を設定し、それぞれの取組み状況については、毎年、年次報告書（新潟市の環境）を作成し、公表します。

6. 是正及び予防処置の状況

各所属から報告を受けた不適合の件数は 64 件でした。発生した不適合については、是正処置が行われました。

3 前回の市長指示事項への対応状況

令和元年度市長指示事項	対応状況
<p>(1)令和元年度は、地球温暖化対策実行計画（第5期市役所率先実行版）の最初の年度である。職員一人ひとりの節電・省エネ意識を高め、計画に定める目標（マイナス 16%）を達成できるよう、ICT の積極的な活用により、ペーパーレス化や労働時間の短縮など業務の効率化を図るとともに、気候に応じ、職場環境に留意しつつ、今後より一層の庁舎などの節電・省エネについて徹底すること。</p>	<p>◎CO₂削減量は 21.7%を達成し、計画に定める目標マイナス 16%を現時点で上回っています。令和元年度は新型コロナウイルス対応に伴い職場やそれを取りまく環境の変化がありましたが、新型コロナウイルスからの復興の過程においても環境に関する取り組みが後退することがないよう、CO₂ の削減に関して今後も引き続き徹底して取り組んでいきます。</p>
<p>(2)施設については、最適化を進めるとともに、低炭素化を図ることがエネルギーコスト削減にもつながることを認識し、以下の取組みを進めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設のデマンド監視に積極的に取り組むこと ○照明の LED 化に取り組むこと ○各種機器の導入・更新に際してはトップランナー基準を満たすものを積極的に導入すること ○施設の新築、大規模改修時など省エネ設備やエネルギーマネジメントシステム、再生可能エネルギーなどを積極的に導入すること 	<p>◎小学校 1 校、中学校 2 校でデマンド監視の実証をしました。</p> <p>◎保育園 7 施設の照明の LED 化が行われました。</p> <p>◎新潟スワンエナジーの電力使用施設の拡大を積極的に推進しました。</p>
<p>(3)公共交通機関の積極的利用やノーマイカーデー、エコドライブの実践など職員自ら環境に配慮した移動を心掛けること。</p>	<p>◎職員に対し、ノーマイカーデー、エコドライブの実施を呼びかけました。</p> <p>◎北区役所、西区役所でエコドライブ研修を実施しました。</p>
<p>(4)物品の調達に関しては、調達の前に、必要な物品かどうか及び数量は適切であるかを十分に検討したうえで、「新潟市グリーン調達推進方針」に基づく発注を行うこと。また、自動車の調達に際しては、環境性能に優れた自動車の導入に引き続き努めること。</p>	<p>◎新潟市グリーン調達推進方針に基づき取り組みました。調査対象 41 品目のうち、調達実績のあった 40 品目で 100%を達成したのは 15 品目でした。未達成だった 25 品目についても、80%以上と高い調達率となっています。（昨年度の 100%達成は 17 品目）</p> <p>◎グリーン調達対象自動車 46 台のうち、適合車は 40 台で 87%の達成率となりました。（昨年度は 92%）必要な仕様を満たす適合車がなかったことが主な理由でしたが、グリーン調達の認識不足もあったため、周知を徹底していきます。</p>

<p>(5) 市民の環境配慮意識の向上のため、イベントや会議の開催などに際しては、引き続き以下のことに取り組み、環境に配慮していることを参加者や市民にPRすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来場者への公共交通機関の利用促進を呼びかけること ○飲食物を提供する際はリユース可能容器などの利用による廃棄物削減をすること ○廃棄物削減の観点から、食品ロスの発生抑制に留意すること ○配布物などのプラスチック製品、包装の抑制に取り組むこと 	<ul style="list-style-type: none"> ◎イベントなどでの公共交通機関の利用促進及び飲食物提供時の廃棄物削減について、掲示板などで全庁的に周知しました。 ◎リユース可能容器の使用を呼びかけ、一部の会議でリユース可能容器を使用しました。 ◎食品ロスの発生抑制のため、20・10・0運動を呼びかけ、実践しました。
---	--